

質問箱・その⑮

圓頓寺本堂平成の大改修があり、質問箱は第七十四号の落慶報告式特集号などで三回休みました。

二〇一八年六月十日の落慶報告式に参加したお檀家Qさん、約二〇〇年前の本堂の改修工事と聞き、お寺の歴史について住職にお尋ねしました。(法難についてはお休みいたします。)

Qさん 二〇一八年六月の本堂改修落慶報告式は、多くの檀信徒の皆さん、寺族の方々、ご来賓、関係者各位、蒲島知事にもご参加いただき厳粛に行われ、見事に本堂、山門、鐘楼堂が蘇りました。大変なご苦労があったと思います。



落慶報告式・開眼供養

住職

いえいえ、総代さん、役員さん、檀信徒の皆様方始め宮大工さんから工事関係者の方々の多大なご苦労・ご協力・ご支援があったからこそございます。心からありがとうございます。感謝しております。

Qさん 今回の改修は約二〇〇年

前の本堂の改修だそうですが、圓頓寺はいつから始まったのでしょうか。

住職

圓頓寺は寛永元年(一六四四年)、久本院(本光院)日授上人が現在地に開基創建されました。

Qさん

ということでは約四〇〇前に始まったお寺で、日蓮宗のお寺としては山鹿地方では古い方ではないでしょうか。

住職

当時は旧鹿本郡市には日蓮宗寺院はありませんでした。当地域最初の日蓮宗寺院として永い歴史がございます。

Qさん

日授上人はどうしてお寺を現在地に建てられたのでしょうか。理由があるので

有限会社 盛文社印刷

山鹿市下町18-07  
TEL 0968-43-2604  
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA SHOKAI

合資会社 とらや商会

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990  
〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

しょうか。

住職

天正十五年（一五八七年）、豊臣秀吉は佐々成政を肥後の国主に任じました。その際、二三年、検知有るまじき事」など掟書をあたえま

Qさん

秀吉から検知をするな、と知行を安堵された国衆は反抗しますよね

住職

国衆と成正是、隈府城、城村城、隈本城、田中城など当時の肥後各地のお城で戦となり、国衆一揆が起りました。

Qさん

国衆一揆という言葉は聞いたことがあり、三加和町

ではイベントがあり、見学に行ったことがあります。



住職

一揆の重大性を感じた秀吉は九州の諸大名を動員して平定。その結果成政は切腹。大多数の国衆は成敗され、山鹿を領有してしま

により鎮魂供養するため、山鹿城跡の一部である現在地に建てられました。

Qさん

それで、日蓮大聖人の祥月命日であるお会式の日、山鹿氏一族にも焼香し供養するのでですね。



お会式で山鹿氏一族を供養する住職

住職

国衆一揆後加藤清正公が入国されました。当時、日蓮宗のお寺は高瀬に二カ寺しか無かったそうです。ご存

寺社建築設計施工・一級建築士事務所

株式会社 玄 匠

代表取締役 高橋 健二

〒830-0102 久留米市三潞町田川1728-2

TEL 0942-65-1866 / FAX 0942-65-1867

知のとおり清正公様は法華經の大檀越です。肥後各地に日蓮宗の寺院が開創され、圓頓寺も清正公様のご威徳は絶大です。

Qさん

初代の住職は日授上人で、英人上人は三十四代目の住職ですが、ご住職はすべて分かっていきますか。

住職

寛永元年(一六二四年)に創建されたお寺は、天保六年(一八三五年)孟蘭盆会の夜出火で全焼しました。日蓮大聖人像と三宝尊御本尊、法華經一部経経巻、四菩薩立像、四天王立像などは持ち出されましたが、過去帳・由緒書・古文書などが焼失しましたので、二世から十一世のお上人は不明です。

Qさん

天保六年(一八三五年)

お寺は全焼しましたが、寛永元年(一六二四年)に創建されたとは何でわかるのですか。

住職

昭和五十六年、日蓮大聖人第七百遠忌法要の際に、早川久五郎総代を中心に編集委員の方々が、大変な苦勞をされて調査され、記念誌が発行されました。



故・早川久五郎総代  
平成4年身延山団参

Qさん

その記念誌は私も持っています。挨拶、お寺の歴史、由緒・沿革、御本尊、仏具、書籍など良く調べられています。

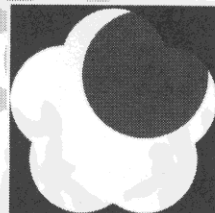
ます。その時の調査で、『肥後国誌と鹿郡舊語傳記』という書籍が見つかりました。その中に圓頓寺の開基に関する記述がありました。なお開基の日授上人は、肥後国誌では久本院日授とあり、鹿郡舊語傳記では本光院日授とありますので、併記しています。

Qさん

圓頓寺は寛永元年(一六二四年)に開基創建され、二〇〇年以上たった天保六年(一八三五年)に全焼したということですが、その間お寺はどうなっていたのでしょうか。

住職

寛政年間第十六世善了院日勤上人により、本堂及び庫裡など新築あるいは改修



拝む心で尊い品を...

うめたに

仏壇仏具・神社仏閣総合企画

(本店) 福岡市西区周船寺3-9-4 ☎ 092-807-0500  
(川端店) 福岡市博多区下川端町3-1 ☎ 092-271-0456  
(博多リパレイン1F)





大聖人御尊像・四菩薩・四天王

されています。同上人を中興の祖とする。と記録では残っています。

**Qさん** 二世の御尊像はやはり江戸時代にも改修されていますね。火災により焼失しましたが、日蓮大聖人像と三宝尊御本尊、法華経一部経経巻、四菩薩立像、四天王立像だけでも助け出されてよかったですね。

いつ頃作られたものでしょうか。

**住職** 日蓮大聖人像は天和元年（一六八一年）に奉納されました。この御尊像は彫刻に霊驗あらたかな善行院日助上人の作です。三宝尊御本尊、法華経一部経経巻、四菩薩立像、四天王立像は、宝塔に収蔵されていた法華経一部経巻の巻頭に、第十二世恵光院日曜上人の筆による願文が次のように記されています。「制作年代 徳元文五年（一七四〇年） 庚申、仲冬（十二月）」

**現住** 第十二世恵光院日曜上人、「願主 当山檀越 木下円了、久留米屋市右衛門、茶屋佐右衛門」、「施主 額田勝兵衛」、「制作仏師 示順意日助」。

**Qさん** 焼失したお寺はその後どうなったのでしょうか。

**住職** 二十一世から二十五世のお上人様の功德と努力に加え、信仰篤き檀信徒の支援、多額の浄財により、十四年の年月をかけて嘉永二年（一八四九年）に、二十五世本浩院日正上人の代に再建され、ご先祖様方が守ってこられたのが、昨年落慶報告式を厳修しました本堂です。江戸時代建築の本堂は、県内日蓮宗寺院においても貴重な建築物です。

**Qさん** 落慶報告式の時、綺麗になった本堂の中を見渡しました。照明設備（LED電球）、空調設備、放送設備、サッシの窓などは最新のものだと思いますが、天井の龍

第21回全国菓子大博覧会  
茶道裏千家家元賞受賞

伝統の味をそのままに  
風味まるやか

西益屋の **糖箱もろか**

●第18回全菓子博名誉総裁賞受賞

株式会社 **西益屋**  
代表取締役 宮本榮次郎

■本店 / 山鹿1608 ☎0968 43-3033  
■支店 / 中央通セントラルパーク  
☎0968 44-3160

神絵図と彫刻も綺麗になつたように見受けました。建築当時のものでしょうか。

住職

両方とも建築当時のもので、天井の龍神絵図は狩野洞容の作です。龍は仏教の守護神で火から守る守護神です。狩野洞容は肥後藩の御用絵師で、さくら湯の貴賓湯天井の双竜の絵も描いております。木鼻と虹梁の彫刻も清掃され美しくなりました。

Qさん

清正公様と鬼子母神様の厨子、瓔珞などの仏具、彩色も綺麗になっていました。圓頓寺には貴重な仏像などが残されています。寺宝ともいふべきものが沢山ありますね。山門も今回改修されましたが、いつ建設されたのでしょうか。



落慶報告式当日・改修された山門

住職

山門も台風や地震により瓦が落ちるなど傷みました。山門は明治四十二年（一九〇九年）、第二十八世常光院日勝上人の代に建立されました。当時の総代さんが大本山・池上本門寺に参詣し、その総門の縮小型を建造したと言われています。切妻一脚門の山門は清楚にして風格があります。

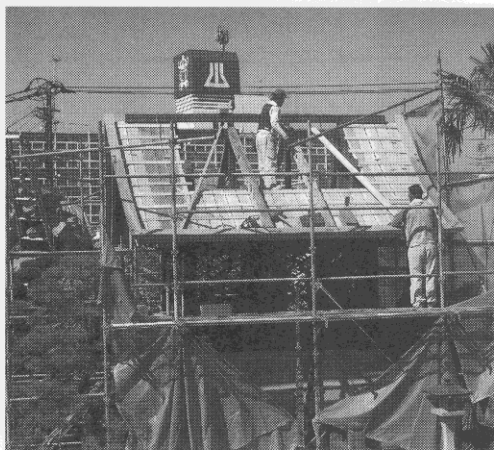
Qさん

山門掲額も綺麗になりました。住職さん、日蓮大聖人様は百廿三歳住持で、御味正元山号「常明山」という掲額も塗り直し修復し、綺麗になりました。掲額の裏面に、享保十七年（一七三二年）壬子暮春（晩春の意）、筆者・江村宗因寿七十八とあります。

Qさん

鐘楼堂も改修されました。

改修中の鐘楼堂



そのだ企業グループ

生コンクリート製造販売

一般貨物自動車運送事業・建設資材販売・貸倉庫業

(株)城北生コンクリート

(株)園田産業運輸

不動産の賃貸・損害保険代理店

(株)熊本管財

熊本県山鹿市久原 4211 番地

TEL (0968) 44-4771 FAX (0968) 44-5200



第32世一妙院日淳上人  
平成2年英人上人得度式

**住職**  
 明治四十一年（一九〇八年）、第二十八世常光院日勝上人の代に建立された鐘楼堂も台風や地震により鬼瓦が落ち、基礎の石垣も危険な状態となり、鐘楼堂に上る石段も不安定でしたので、併せて改修しました。

**Qさん**  
 鐘楼堂には大きく立派な梵鐘があります。

**住職** 木暮と政業の梵鐘は昭和二十六年（一九五一年）四月吉日に、第三十二世一妙院日淳上人（荒

木恵海上人）の代に、日蓮宗開宗七百年慶讃事業として設置されました。

**Qさん**の鐘の縁のところに大梵鐘にはいろいろ書いてありますね。

**住職**の升の縁に  
 ○梵鐘の袈裟襷の部分に、「南無妙法蓮華経、皆帰妙法、立正安国、一天四海」と浮き彫りされています。他に「願主 檀信徒一同」、「納入 内田交易株式会社」、「鑄匠 七代 次右衛門」、「総代 蒲島市蔵、石川幸次郎、宮本勝次、山田貞吉、柏田音次郎」、「世話人代表 荻秋次郎」、「在布哇 森家、栗原家、渡辺家、坂本家」と刻してあります。

**Qさん**  
 日蓮大聖人像、四菩薩立像、四天王立像などに向かつて左側にある清正公様のお

元々桧材の白木造りで汚損が著しかったため、昭和五十六年、日蓮大聖人第七百遠忌法要に当たり、報恩奉行として朱色漆塗装金箔押



落慶報告式当日の清正公厨子

厨子も、綺麗になっていました。

**住職**  
 清正公様のお厨子は、明治十九年（一八八六年）第二十六世〇〇（不明）院日精上人の代に設置されました。



郷土に生まれて味ひとすじ

仏・祝会席・鉢盛・寿司



中町店 ☎ 44-0055

仕出部 ☎ 44-5804



として修復されました。しかし、その後瓦の劣化などで雨が降るたびに雨漏りし、お厨子にブルーシートをかけてしのいでいました。

Qさん

そうですね雨の時はブルーシートをかけ、バケツ、タライ、くずかごなどで雨漏りを受けておられるのを見受けました。

住職

お厨子も雨の被害がひどかったので、今回塗り直し修復しました。なお、昭和五十六年の修復の際「棟木札」が発見され、次のことが確認されました。「女人講中發起人 願主 角田以登、角田由久、角田喜和、石井茂登、石井恵与、吉田梅、原田志須、木庭敬蔵」、「周旋人 石川武次郎、木下才次郎」、「大工原口伊平、井垣幸九郎、井

垣宇一、津賀徳次」

Qさん

清正公様像はいつごろの作でしょうか。

住職

清正公様像は残念ながら制作年代、安置の時期は分かりません。仏工は加藤宣助としか分かっていません。(注・日蓮大聖人第七百遠忌大法要記念「常明山・圓頓寺」、圓頓寺たよりへの寄稿、法話、山鹿市誌を参考にして編集子が編集し、住職に監修いただきました。)

行事スナップ



孟蘭盆法要  
秋吉上人灑水の儀



ほうろく灸を当てる檀信徒



株式会社 松下仏壇店

大牟田本店

大牟田市上町2丁目2 上官通り  
☎0944-56-3675

熊本店

熊本市中央区上水前寺1-12  
-12 (東バイパス熊工前)  
☎096-384-5666

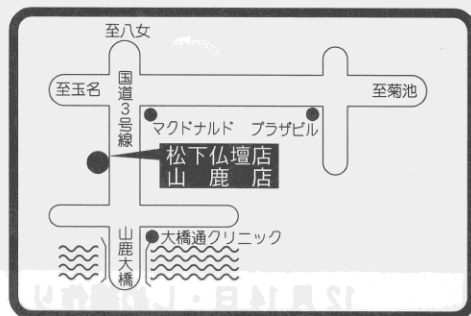
玉名店

玉名市中平畑1832 玉名高校入口  
☎09687-4-4840

山鹿店

山鹿市大橋通り404  
☎0968-43-5665

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします





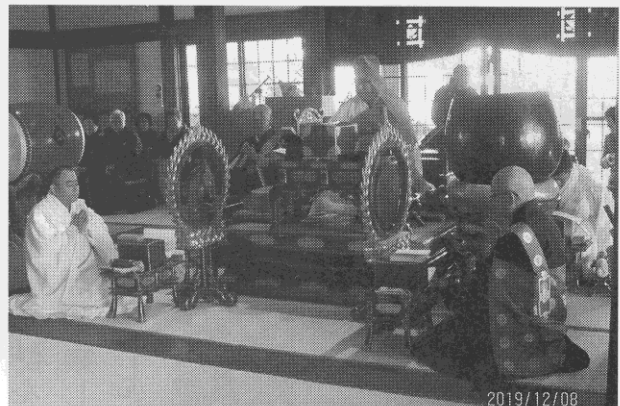
年末総供養・厨房の様子



年末総供養・受付風景



年末総供養・参詣の檀信徒



年末総供養・ご出仕の式衆



12月14日・本堂の掃除



年末総供養・参詣の檀信徒



12月14日・しめ縄作り



12月14日・墓地の清掃



# 身延山団参のご案内 (予定)

## 日蓮大聖人御降誕八百年慶讃記念

このたび、日蓮大聖人の御降誕八百年を慶讃記念しまして、身延山久遠寺への団体参拝旅行を御案内申し上げます。あわせて、日蓮大聖人の御生誕の霊跡寺院「誕生寺」、御幼少からの御修行の「清澄寺」等を参拝します。

またとない機会になりますので、初めての方はもちろんのこと、ひとりでも多くのご参加をお願いいたします。

企画案ですので期日等の変更がある場合があります。後日、正式に御案内申し上げます。

### 旅程概要

**旅程期日** 令和2年5月26日(火) から 5月28日(木) 2泊3日

**参加費用** ￥120,000 御開帳料を含みます

**募集人員** 20名

ご旅程期日 令和2年5月26日(火)～5月28日(木) 2泊3日	
1	<p style="text-align: center;">7:00 山鹿(圓頓寺) — 菊水IC — 大宰府IC — 10:00 (FDA-142) 11:25 福岡空港 — 富士山静岡空港</p> <p style="text-align: center;">—— 吉田IC —— 焼津IC —— (昼食) —— 焼津IC —— 清水IC —— 南部</p> <p style="text-align: center;">—— 身延山久遠寺団参・思親閣奥の院参拝・御廟所参拝 —— 身延【泊】</p>
2	<p style="text-align: center;">宿坊 —— 本山朝勤参拝・朝食 —— 新清水IC —— 駿河湾沼津SA —— 海老名SA</p> <p style="text-align: center;">—— 浮島IC —— 海ほたるPA(昼食) —— (東京湾アクアライン) 海ほたるPA —— (房総スカイライン) 君津IC ——</p> <p style="text-align: center;">—— 大本山小湊 誕生寺団参 —— 両親閣 妙蓮寺参拝 —— 小湊温泉【泊】</p>
3	<p style="text-align: center;">宿 —— 誕生寺(朝勤参拝)・朝食 —— 大本山小湊 誕生寺団参 —— 勝浦(妙覚寺)・昼食</p> <p style="text-align: center;">—— 大多喜 —— 市原舞鶴IC —— 浮島IC —— 東京 羽田空港 —— 17:10 (JAL-327)</p> <p style="text-align: center;">—— 福岡空港 —— 大宰府IC —— 菊水IC —— 山鹿(圓頓寺) —— 21:30</p>

主催 当山 信行会

お寺の行事

一月十三日(月)

日蓮大聖人報恩  
午前十時

初講法要

宗祖日蓮大聖人の正月の初御命日に講をおこして、御入滅をしのび、報恩のお祈りをささげる聖日です。

二月三日(月) 午前十時

開運節分析禱会

除災招福・星祭祈禱

一月二十日(月)

日蓮大聖人報恩  
九日間・夜七時

大寒・寒修行

毎夜七時から山鹿市内を巡回します。お上人と共に修行しましょう。出来ない方はご供養しましょう。

二月十六日(日) 午前十時

宗祖降誕会

御誕生をお祝する日

三月二十八日(土) 午前十時

鬼子母神祭

彼岸会法要

百日間の大荒行を成満した、荒行僧の秘法除災除厄祈禱が行われます。

五月三日(祝日) 午前十時

立教開宗会

大黒天まつり

六月二十三日(火) 午前十時

清正公・頓写会

御入滅を偲ぶ日

発行所

山鹿城趾  
湯の町てら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五

☎ 四三二二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七八二八

電子メール:a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ:www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール:info-seibunsha@hyper.ocn.ne.jp